

(様式2)

令和2年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立汐入学校

【評価】 成果指標の達成度から評定 (A・B・C) を決める A: 達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する

| 事業名 | 取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて) | 予算及び決算 | 成果及び次年度の方向性 | 評価 |
|----------------------------------|--|---|--|----|
| 教員の授業力の向上 | <p>【内容】 講師を招聘した校内研究授業、校内研修の実施、および教員の指導技術向上に関する資料を学校で統一して購入し、授業改善を図る。</p> <p>【目標】 ・児童による学校関係者評価「6分かる授業」について肯定的評価が8割を超える。</p> | <p>【予算】182,000円 講師等報償費 104,000円 教師用資料 78,000円</p> <p>【決算】176,847円 講師等報償費 100,000円 教師用資料 76,847円</p> | <p>・講師による指導例を基に指導技術を学ぶ研修を8時間、講話を2時間実施した。</p> <p>・指導技術の冊子を各学年、年間購読し、教員の指導力向上を図った。</p> <p>・児童による学校関係者評価「6分かる授業」について肯定的評価が87ポイントであった。</p> | B |
| 思考力・判断力・表現力の育成と基礎的・基本的な知識及び技能の定着 | <p>【内容】 新学習指導要領に準拠した辞書を中学年で一人1冊常用できるように、学校常備分とは別に確保。新学習指導要領に例示された低学年の水書用筆セットの活用。</p> <p>【目標】 ・日常的な辞書の活用、水筆による文字指導。 ・学力調査の国語において、前年度より経年で比較して正答率の向上を図る。</p> | <p>【予算】617,250円 一人1冊国語辞典 483,600円 水書用筆教材 133,650円</p> <p>【決算】616,803円 一人1冊国語辞典 478,203円 水書用筆教材 138,600円</p> | <p>・中学年が日常的に国語辞典を使用できる環境、4進級時も自分の辞典を継続して使用できる環境を整えた。</p> <p>・低学年の運筆指導のために水筆を活用した。</p> <p>・2年生は+8.8ポイント、3年生は-3.7、4年生は-2.9ポイントであった。</p> | C |
| あらかわ寺子屋 | <p>【内容】 各学年より継続的に復習を必要とする児童に対し少人数で実施。プリント、タブレットPCの「スマートスタディ」など活用した補充学習を行う。</p> <p>【目標】 参加児童の東京ベーシックドリル診断テスト結果の向上。</p> | <p>【予算執行はあらかわ寺子屋事業による】</p> | <p>継続的に復習を必要とする児童約30名に対して130回の補充学習を行った。次年度は、学力向上委員会を中心に、追跡調査を行い、学力向上の度合いを測定する。</p> | B |